

第21回

アイネ

Eine

クライネ

コンツェルト

Kleine Konzert

～楽しい時をあなたに～

タンゴ・エスペランサ

朗読と音楽ことの葉のおと

SSOフルートアンサンブル

ダンスBONANZAGRAM

混声コーラス

「黒いひとみ&ダークアイ」

2025年4月13日(日)

◇パルテノン多摩小ホール◇ 15:00 開演(14:30 開場)

発売日 2月14日(金) 10:00～

全席自由 1500 円 高校生以下 800 円 未就学児入場可

2歳児以下は膝上鑑賞無料、但しお席が必要な場合は有料

- ・チケット取扱い パルテノン多摩2階総合案内
(窓口のみ) 042-376-8181 ※お支払いは現金のみ
(休館日・定休日を除く 10:00～19:00)
- ・アクセス 京王線・小田急線・多摩都市モノレール
「多摩センター駅」下車徒歩 5分
- ・お問い合わせ: 090-5443-8397 (猪股)



主催 アイネ・クライネ・コンツェルト 実行委員会
令和7年度パルテノン多摩公募支援事業
後援 多摩市・多摩教育委員会

@Design: 配色: マリー

タンゴ・エスペランサ♪「小雨降る径（みち）」「ノクトゥルナ」ほか

1900年代前半にアルゼンチンのブエノスアイレスで花開いたタンゴ。どこか懐かしい哀愁を帯びながら、人生の喜びかなしみ、郷愁をうたいあげる音楽は、今も世界中で愛されています。

「タンゴ・エスペランサ」は、そんなタンゴを愛好する音楽仲間が集い2004年に結成したバンドです。毎月の練習会のほか、自主コンサートやイベントなどで演奏活動をしています。2024年は多摩市・つむぎ館や中央林間のレストランでコンサートを行い、地域の皆様にも楽しんでいただきました。今回はバンドネオン、バイオリン、ピアノ、コントラバスの編成で、異国を旅するような時間をお届けします。



朗読と音楽 ことの葉のおと 「はるかぜのたいこ」「蜘蛛の糸」



本の素晴らしさ・朗読の楽しさを伝えたい！言葉と音を紡いで、皆様の心に、記憶に残るような朗読を…と、活動しています！今公演では、この季節にぴったりな、柔らかくあたたかい春のお話。安房直子作「はるかぜのたいこ」、多くの方がご存知の、芥川龍之介初の児童向け短編小説「蜘蛛の糸」、タンゴドラムの音色にのせて、物語の世界へ誘います。お楽しみください！

朗読：石本典子・館岡幸子 タンゴドラム演奏：峯岸由紀子

SSOフルートアンサンブル♪「軍隊ポロネーズ」、小組曲より「春の歌」「舟唄」等

SSO（相模原市民交響楽団）のフルートパートのメンバーによるアンサンブルです。相模原市民交響楽団は、年2～3回の演奏会のほか、小・中学校等への依頼演奏会等も行っています。フルートは木管楽器ですが、現在は金・銀等金属で作られることが主流です。素材により音色が違い、大きさにより音域が違い、アンサンブルの趣が異なります。今回はトリオで参加します。普段のオーケストラと違う楽しさ、オリジナルとアレンジもの、それぞれの面白さをお楽しみください。



ダンス BONANZAGRAM（ボナンザグラム） 「PAGE」



明日という未来のページには、今日と同じ平穏な1日書き込まれている、と信じてしまう。しかし実は、自分が生きているかどうかさえ定かではない。

記憶も曖昧なもので、本のページを遡るように過去を振り返ることは難しい。人生という本には、常に今日というページのみがあり、それを丁寧に積み重ね完成させる。誰かの幸せを願いながら、誰かを傷つけてしまう……。それでも私は誰かの幸せを信じて、今日を精一杯生きる。

BONANZAGRAMは新しい舞踊表現の研究所。多摩センターのスタジオで、ライブ公演もやっています。 振付：三浦太紀 出演：櫻井マリ 穴吹淳

混声コーラス「黒いひとみ&ダークアイ」♪

「キエフの鳥の歌」「銀河鉄道999」「春よ来い」「平和のたね」

1989年から曲目のジャンルを問わず音楽の楽しみを歌い続けて来た混声コーラスは、今回のステージで平和・愛・生命の大切さを贈ります。美しい自然と遠い人への思いを寄せた「キエフの鳥の歌」、思いやる大人へと脱皮する為、試練に臨む少年を載せて走る「銀河鉄道999」、傷ついた地球にやさしい春を湧き上がる息吹と共に歌う「春よ来い」。そして「平和のたね」からは多くの言葉をあなたの心に届けます。・・・

